

## 原因分析に関するアンケートの集計結果について

### 1) アンケートの実施

対象者：2024年1月から2025年5月までに「原因分析報告書」を送付した  
保護者405人と378分娩機関

実施期間：2025年9月1日～2025年9月30日（回答期限）

実施方法：アンケート依頼状を送付しwebで回答入力・無記名式（前回同様）

### 2) アンケートの目的

○原因分析報告書が保護者や分娩機関にとってわかりやすい内容か、原因分析が行われて良かったか等、報告書に対するご意見や感想を確認することにより、今後の原因分析の質の向上に繋げること。

○原因分析に対する直近の評価を確認し、前回のアンケート結果と比較検討すること。

### 3) アンケート回答率

（単位：件、％）

		保護者	分娩機関
2025年 (今回)	送付件数	405	378
	回答数	241	218
	回答率	<b>59.5%</b>	<b>57.7%</b>
2021年 (前回)	送付件数	418	409
	回答数	288	261
	回答率	<b>68.9%</b>	<b>63.8%</b>

#### 分娩機関種別

	病院	診療所	助産所
2025年	156件 (71.6%)	58件 (26.6%)	4件 (1.8%)

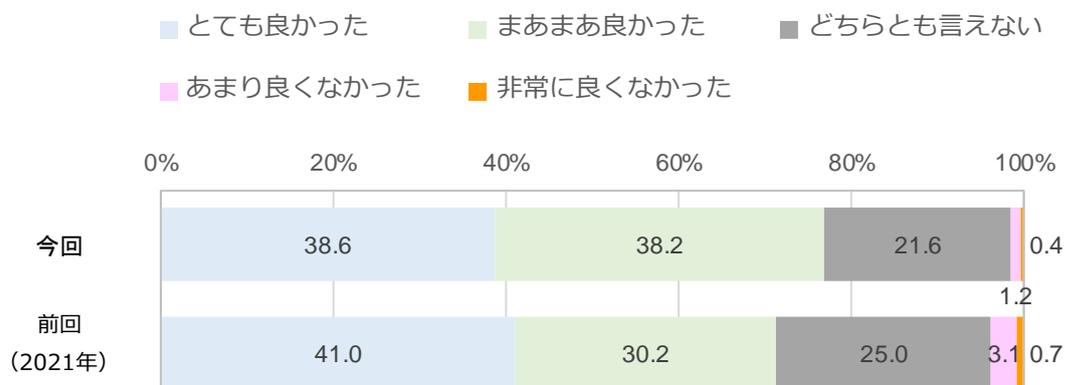
#### 周産期指定

	総合周産期	地域周産期	指定なし
2025年	56件 (35.9%)	64件 (41.0%)	36件 (23.1%)

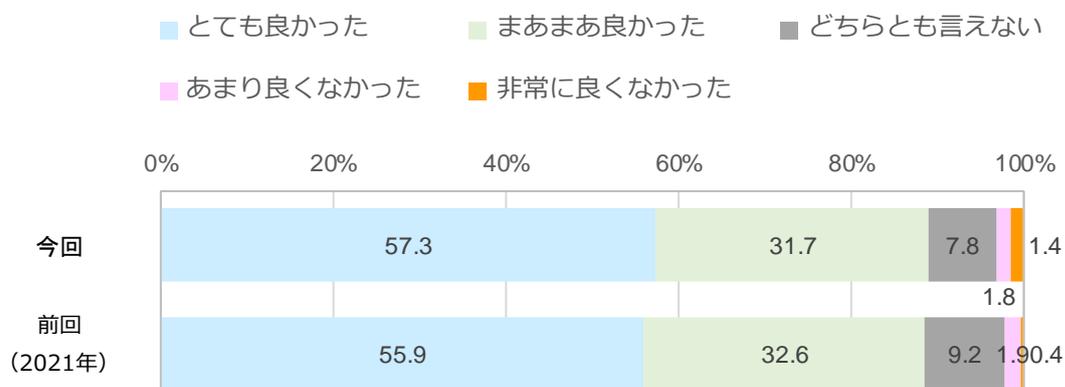
#### 4) 主なアンケート結果

##### (1) 原因分析が行われたことは良かったですか

###### <保護者>



###### <分娩機関>



○「とても良かった」「まあまあ良かった」を合わせた割合は保護者 76.8%、分娩機関 89.0%で、ともに高い数値となった。また、前回調査（2021年）の保護者 71.2%、分娩機関 88.5%と比較しても上昇している。

##### 【原因分析が行われて良かった点】 複数回答あり

###### <保護者>

第三者により評価が行われたこと	144 件
今後の産科医療の向上に繋がること	112 件
再発防止に役立つこと	64 件
原因がわかったこと	60 件
気持ちの整理がついたこと	55 件
分娩機関や医療スタッフに対する不信感が軽減したこと	29 件

###### <分娩機関>

第三者により評価が行われたこと	166 件
今後の産科医療の向上に繋がること	128 件
振り返る良い機会となったこと	121 件
原因がわかったこと	99 件
改善すべき点が明確になったこと	73 件
知識習得に繋がったこと	72 件
家族からの不信感が軽減したこと	61 件

○原因分析が行われて良かった点としては、保護者、分娩機関とも「第三者による評価が行われたこと」「今後の産科医療の向上に繋がること」が多かった。

【原因分析が行われて良くなかった点】 複数回答あり

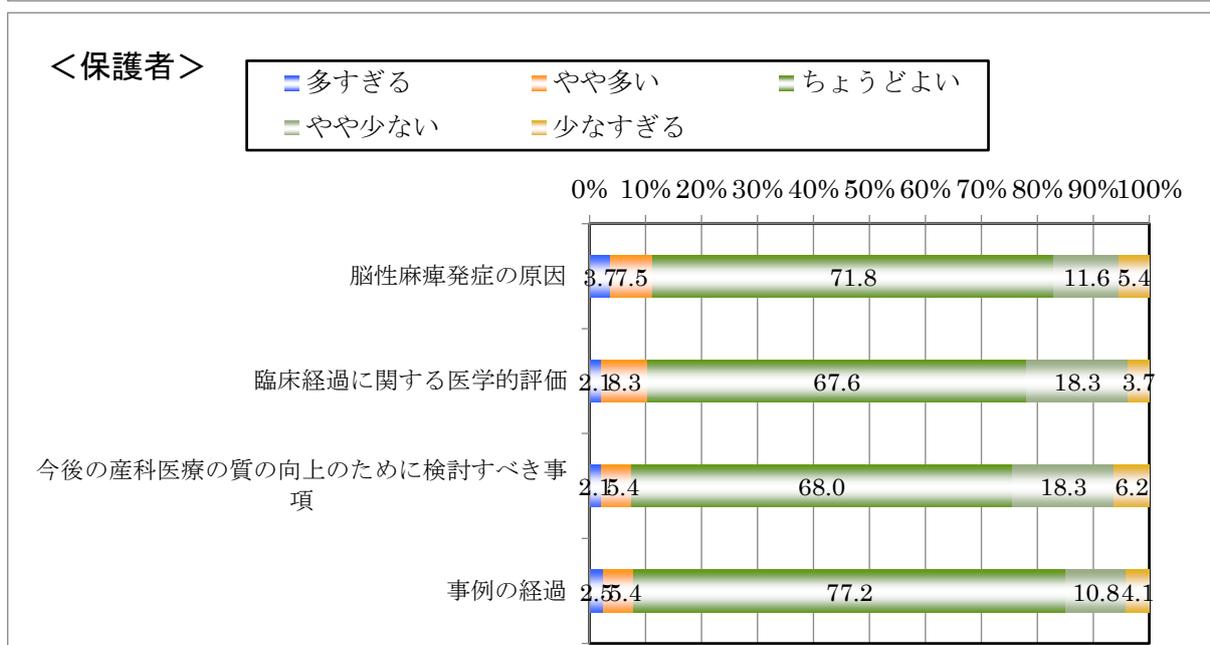
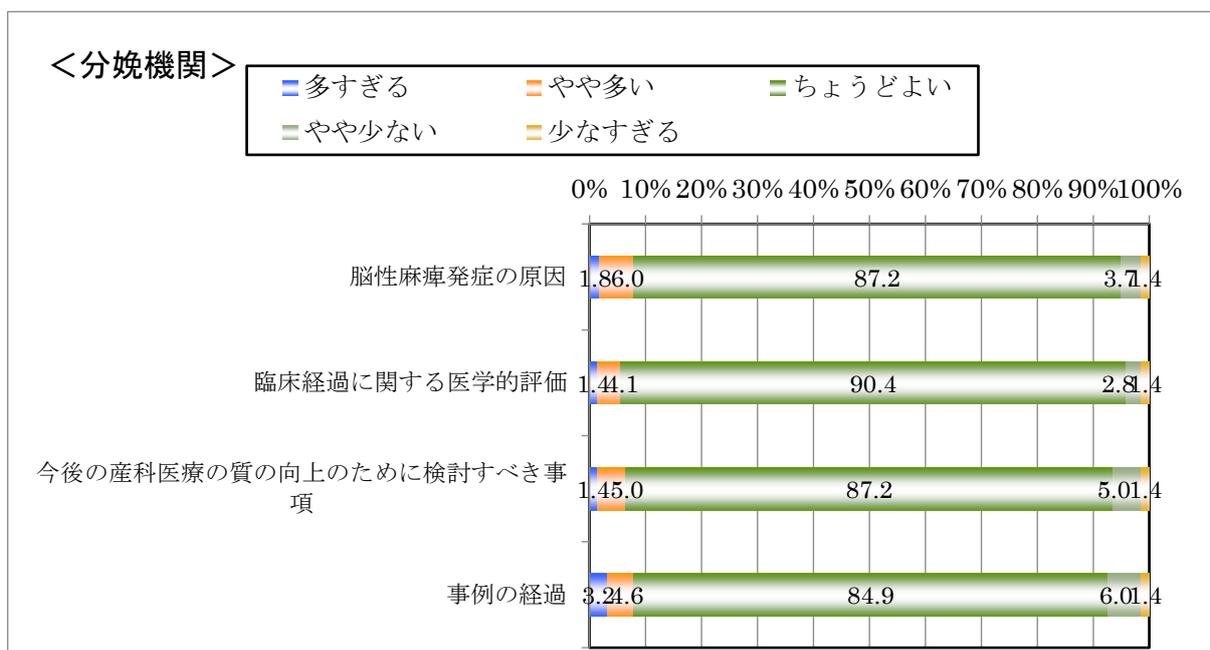
＜保護者＞

今後の産科医療の向上に繋がるとは思えないこと	4件
結局原因がよくわからなかったこと	2件
思い出すことで辛い思いをしたこと	2件
公正中立な評価だと思えないこと	2件
分娩機関や医療スタッフに対する不信感が高まったこと	1件

＜分娩機関＞

分娩機関や医療スタッフに対する家族からの不信感が高まったこと	3件
公正中立な評価だと思えないこと	1件
今後の産科医療の向上に繋がるとは思えないこと	1件
結局原因がよくわからなかったこと	1件

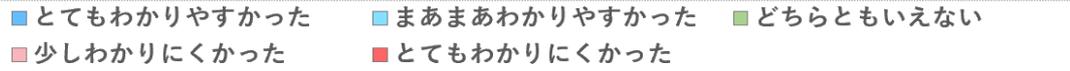
(2) 原因分析報告書の各パートの記載量について



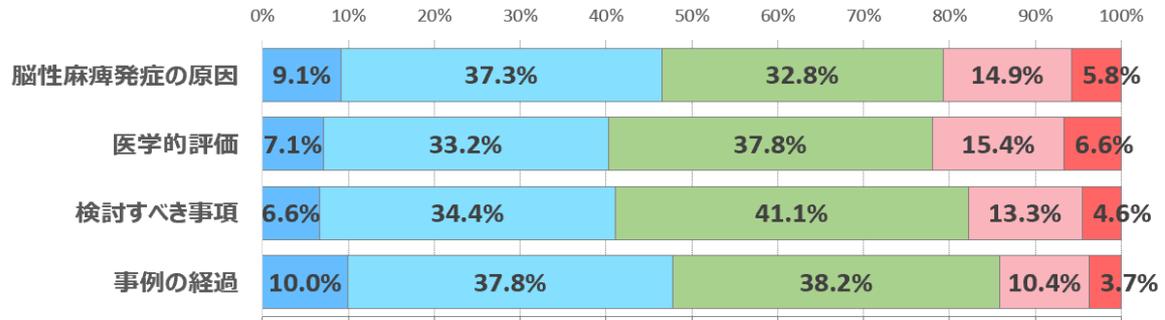
○「事例の経過」「脳性麻痺発症の原因」「医学的評価」「検討すべき事項」の各パートにおける記載量を「ちょうどよい」と答えた割合は、保護者では 67-77%、分娩機関では 84-90%であった。

### (3) 原因分析報告書の各パートのわかりやすさについて

#### 【保護者】



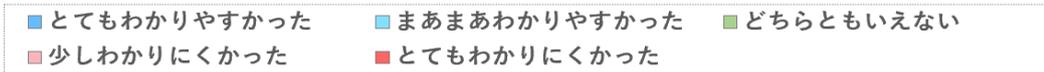
今回（2025年） n=241



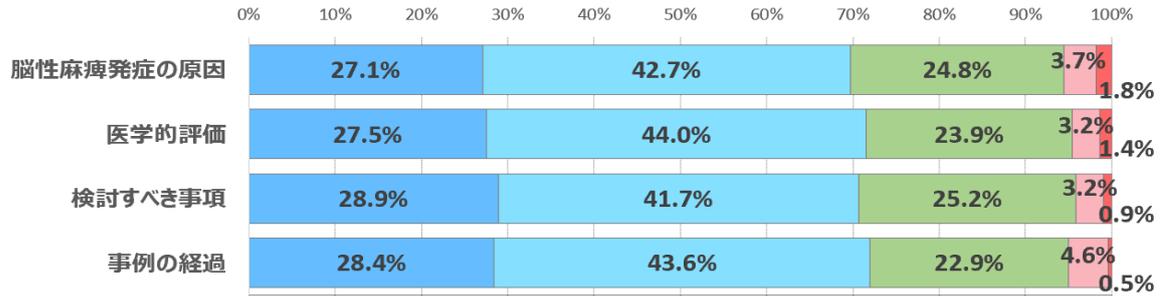
前回（2021年） n=288



#### 【分娩機関】



今回（2025年） n=218



前回（2021年） n=261

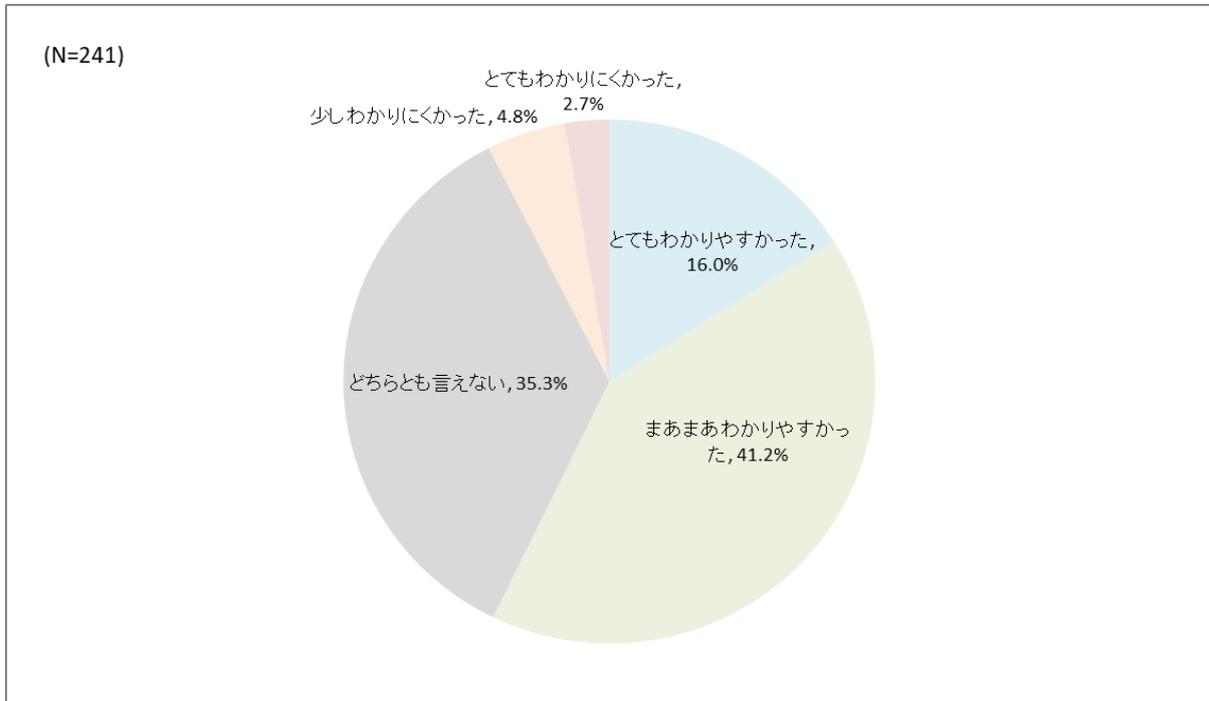


- 「とてもわかりやすい」「まあまあわかりやすかった」を合わせた割合は、保護者では全てのパートにおいて40%台であった。また、分娩機関においては、各パートとも69-72%であった。
- 「わかりにくかった」理由として、保護者は「医学的用語が多くわかりにくかった」(43件)が多かった。分娩機関で「わかりにくかった」とされた件数は僅かであるが、「文章が堅苦しく、内容がわかりにくかった」(8件)、「記載内容が細かく要点がわかりにくかった」(8件)、「医学的評価の定義がよくわからなかった」(8件)が多かった。
- 前回に比べ、保護者においては「わかりにくかった」の割合が減少した。

## 5) その他のアンケート結果

### <保護者>

#### 【「家族からの疑問・質問に対する回答」の回答内容はわかりやすいものでしたか】



#### 【原因分析報告書をご覧になった後に、分娩機関や医療スタッフへの信頼について、お気持ちに何か変化はありましたか】

##### 【良い方に変化した理由】(複数回答あり)

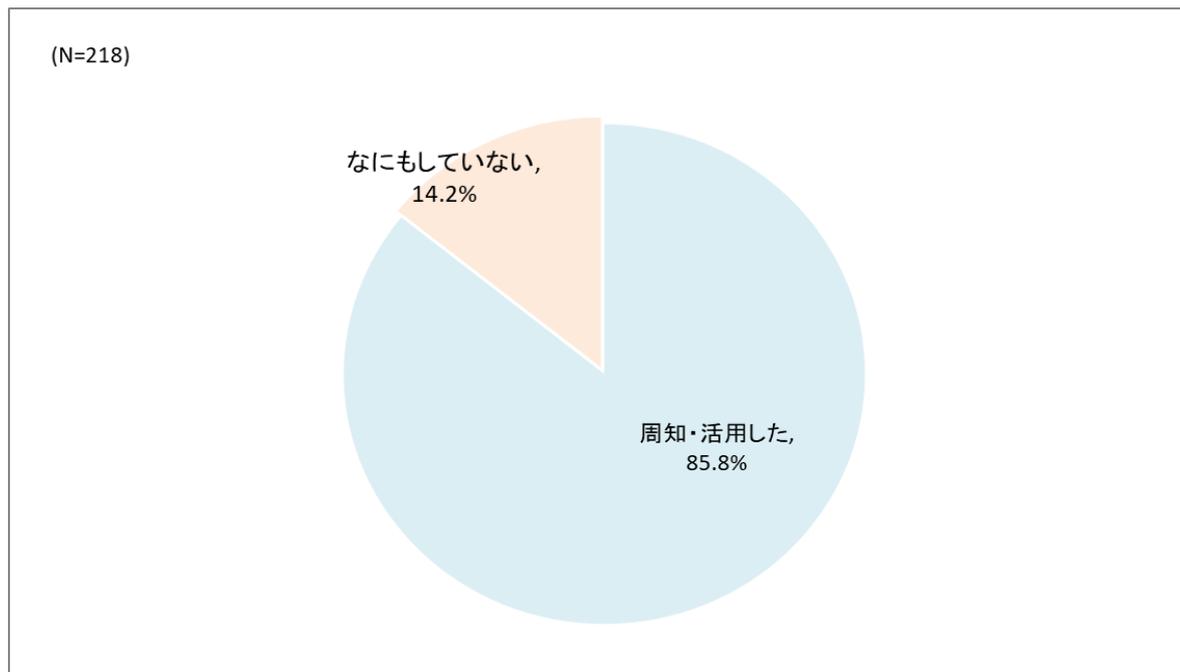
分娩機関が事実を正確に記録していたと感じたから	12件
医療スタッフが当時できる限りの対応をしてくれたことがわかったから	12件
分娩機関の対応はガイドラインに沿っている一般的なものと認識したから	12件
その後、改善のために分娩機関が対応していることがわかったから	6件
報告書の内容が分娩機関から受けた説明と同じだったから	6件

**【悪い方に変化した理由】**（複数回答あり）

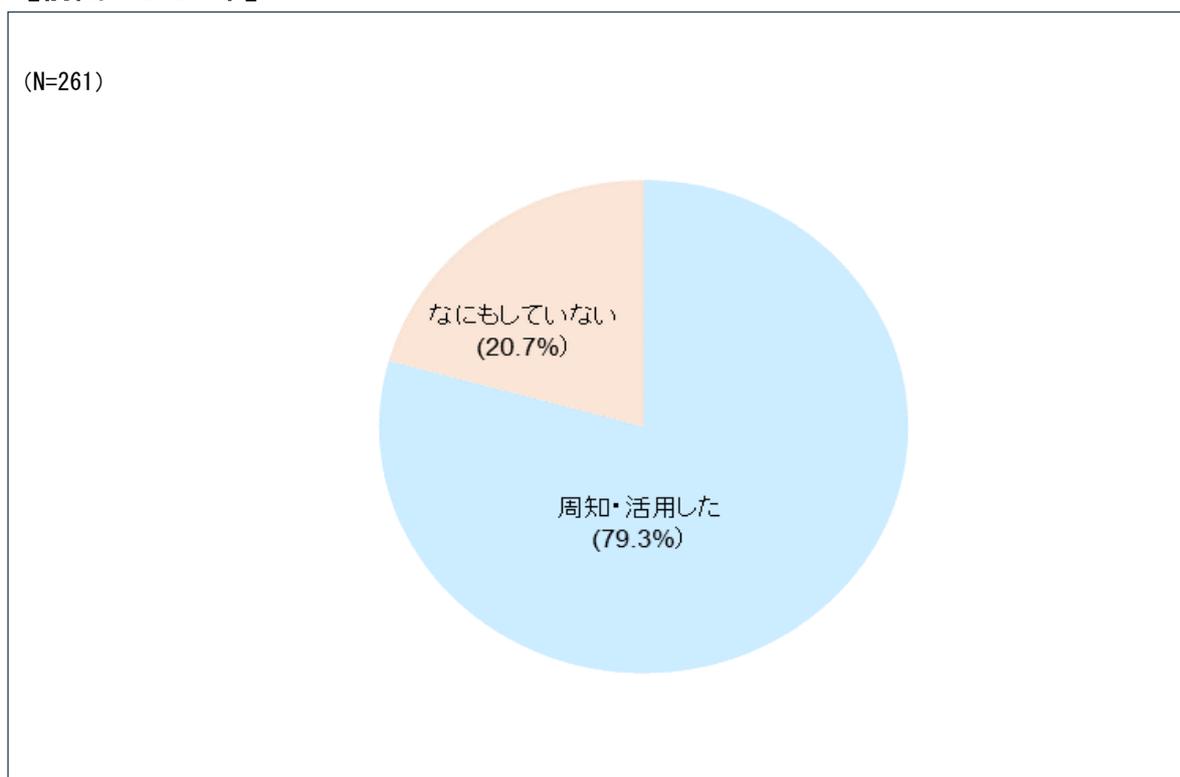
報告書の内容が分娩機関から受けた説明と異なっていたから	7件
分娩機関の対応がガイドラインに沿っていない、一般的でないものと認識したから	7件
分娩機関が正確に記録していない(記録を保存していない)と感じたから	6件
その後、分娩機関が改善のための対応をしていないことがわかったから	5件

**【原因分析報告書の院内での周知活用について】**

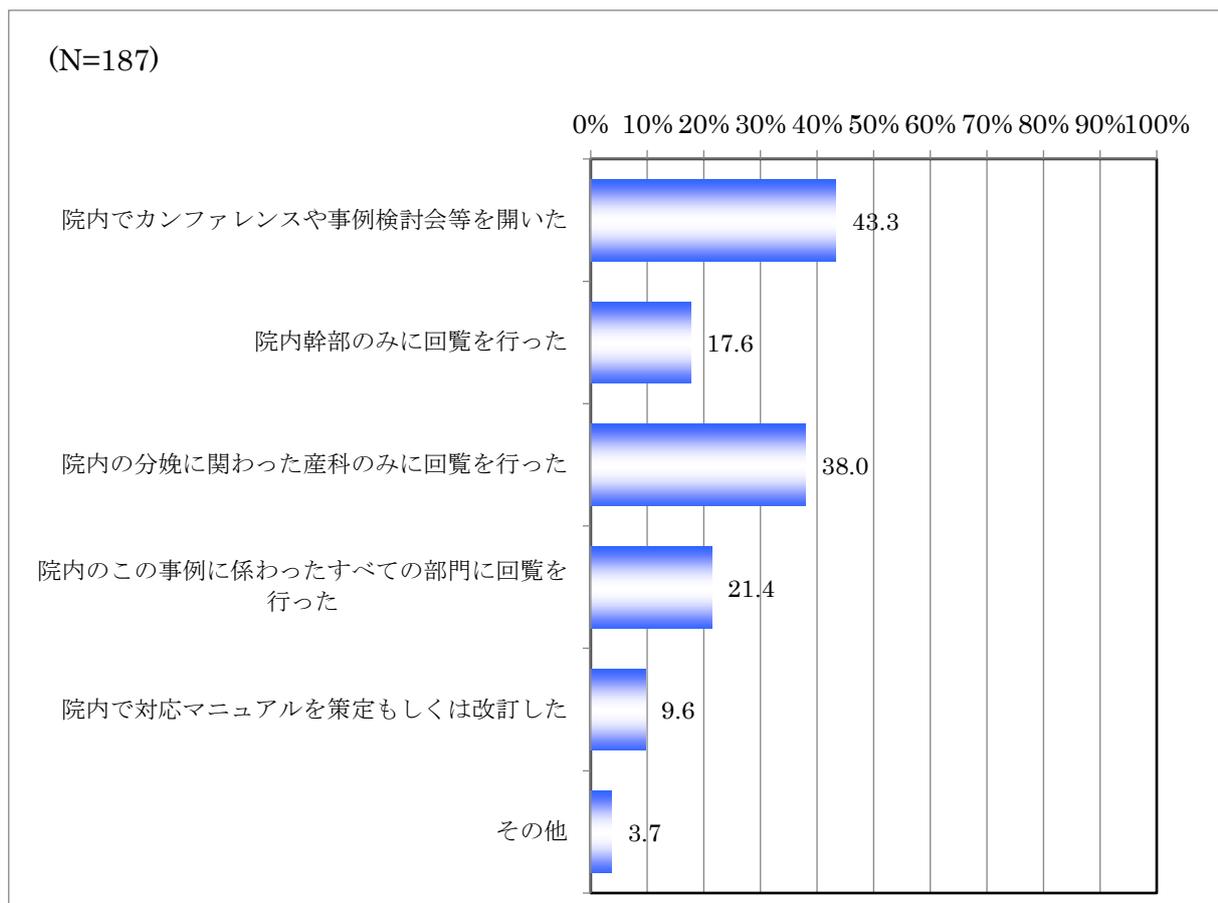
**【今回 2025年】**



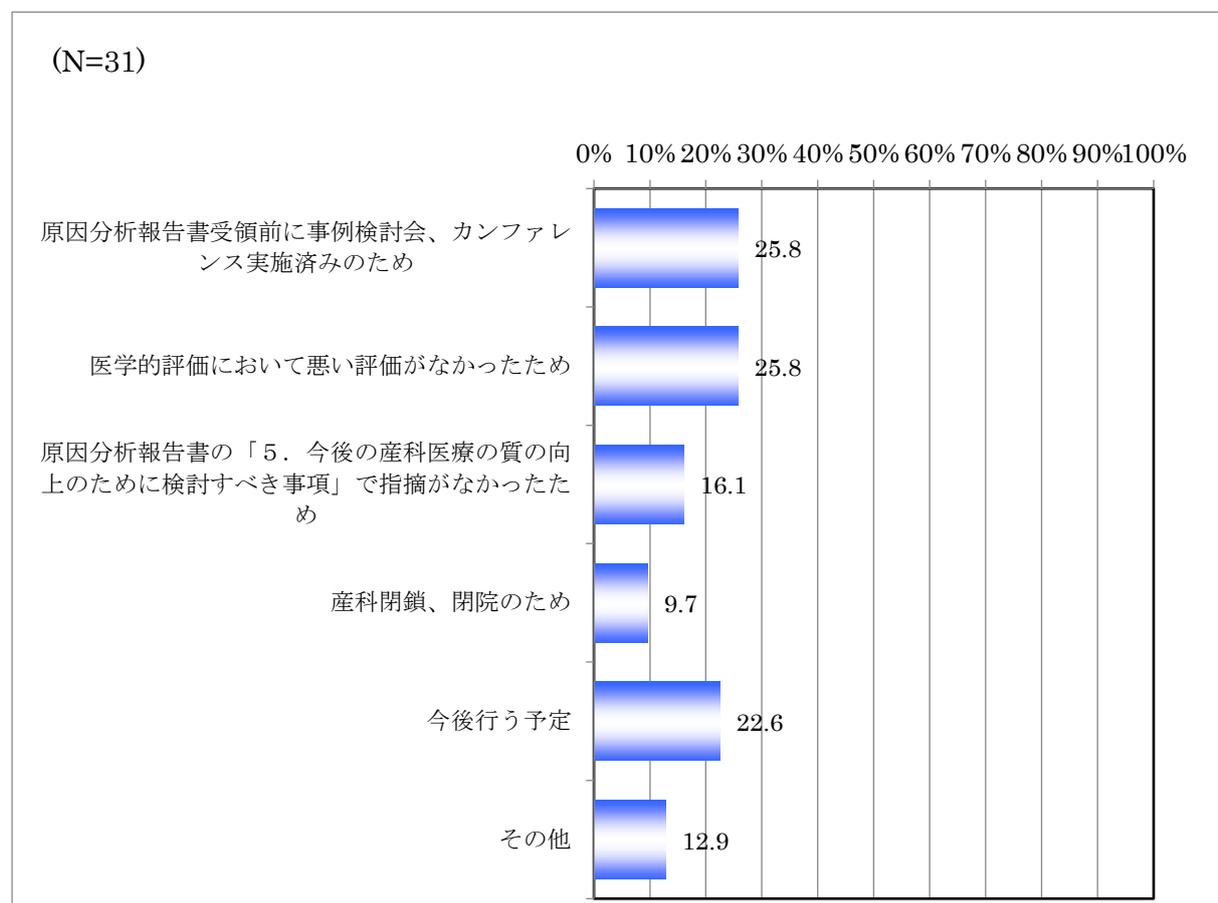
**【前回 2021年】**



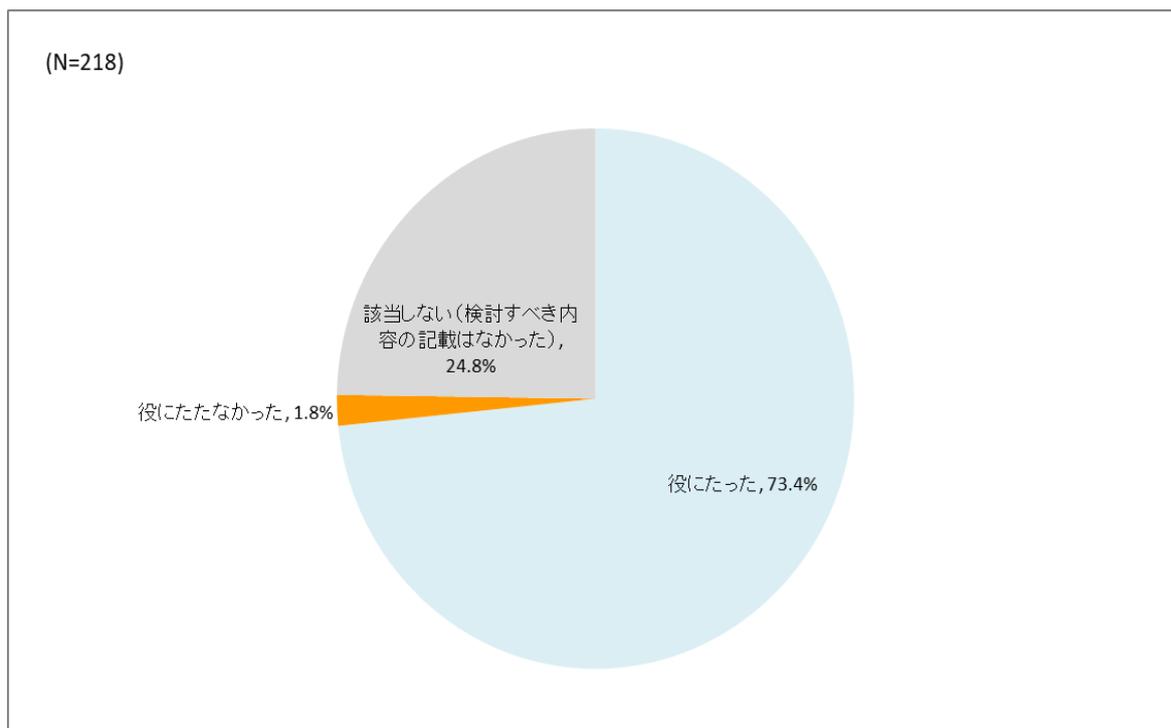
### 院内での周知活用法（複数回答あり）



### 院内での未活用理由（複数回答あり）

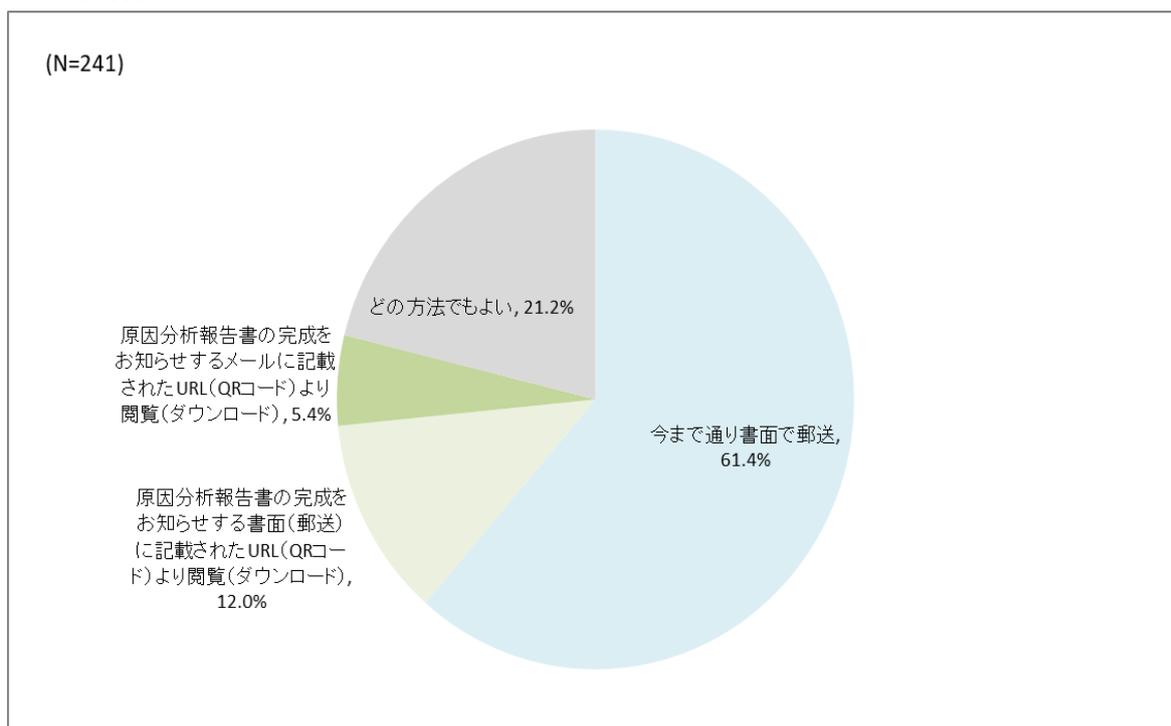


【「今後の産科医療向上のために検討すべき事項」の記載内容は役に立ちましたか】



【原因分析報告書送付方法について】

<保護者>



## <分娩機関>

